

花房町ウォーキングコース

【スタート】花房公民館前

▶距離…約6km ▶時間…約2時間

てくてく
ウォーク 116

① 花房のケヤキ



おおよそ幹周6.5m、高さ35mと推定され、「花房のケヤキ」として常陸太田市みどりの文化財に登録されています。

② 石仏群



安産を願う観音様と馬力神の石仏があります。かつてこの周辺の婦人たちは、産前産後の安全を祈願して、年1回集まり祭礼を行っていたそうです。

③ 辰ノ口用水路



辰ノ口用水路は、およそ360年前永田茂衛門、勘右衛門父子の働きにより築造されました。その結果、現在も花房町をはじめとする近隣の水田を潤しています。

④ 伊勢神社



大同2(806)年創建。元禄時代には、徳川光圀がしばしば御参詣され、渡辺主馬という祠官宅にも立ち寄ったそうです。それに感激した渡辺主馬が「ちはやぶる神と云う神のある中に恵も深き西山の月」という一首を奉ると「西山の峰にとどまる月かげの光ぞ宇津の国の花房」と徳川光圀から給われました。



今回ご紹介するのは、花房町ウォーキングコースです。花房町は市南西部に位置し、常陸大宮市と隣接する国道293号沿いのまちです。最初に出会うのは立派なケヤキ。まるで大きな緑の傘のような存在感があります。その他、コースを巡ると、人々の生活を見守ってきてくれた石仏群や、徳川光圀が参拝したという伊勢神社、天満宮などさまざまな見どころに出会えます。新緑の季節を感じながら、ゆったりと花房町を歩いてみてはいかがでしょうか。



⑦ 石仏群 (青木)



お地藏様が2体祀られています。どちらも、子どもの健やかな成長を願うとされる赤いよだれかけをまっています。

⑤ 金刀毘羅神社



拝殿の右側の階段175段を登ると、金刀毘羅神社と徳川光圀より給われた詞の石碑が建てられています。

⑥ 天満宮 (青木)



かつては小原講を結成し、各家庭持ち回りで、疫病や伝染病などの厄を払う天王祭を行っていました。現在は旧暦の6月20日に青木公民館で掛け軸を掲げ実施しています。